

SLPWORKS

SLPW 25SALTIGA 10 スプール

取扱説明書

この度はSLPW 25SALTIGA 10 スプールをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品を正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書とリール本体の取扱説明書をよくお読みください。また、製品同様にこの取扱説明書も大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

■対応機種
25SALTIGA 10
シリーズ
※最新の情報や
対応機種の詳細はHPをご参照ください。

●付属品①ラチェット ②調整ワッシャー(0.1mm×4、0.3mm×1) ③スプリングワッシャー×2
④リテイナー×3 ⑤ワーニングカード
※ワッシャー・リテイナーは予備を含む
●ご用意していただくもの
①リール本体付属のスプール交換用レンチ(T8)
②ラジオペンチ
③市販のEリング外し、またはマイナスドライバー等

注意

- ①糸が勢いよく出ているときは、糸に触れないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- ②幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながるおそれがあります。
- ③糸が勢いよく出ているときは、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。火傷や、指をはさんで怪我をするおそれがあります。
- ④工具やパーツ、分解中のリール部品など、尖った箇所があり危険です。取り扱いには十分ご注意ください。怪我をするおそれがあります。

●安全上・ご使用上の注意

注意

- ①本製品の組み立て、取り付けに伴いましてリールの分解が必要となります。適正な工具をご使用ください。破損のおそれがあります。
- ②落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ③リールの部品や本製品にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないようにご注意ください。
- ④組み立て、取り付け作業後は正常動作をご確認ください。
- ⑤分解作業時の部品紛失にご注意ください。
- ⑥部品が固着している際は無理に外すとリールの破損につながるおそれがあります。ご注意ください。
- ⑦本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
- ⑧本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。

- ⑨塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥がれた場合は、その部分に触れないでください。怪我をするおそれがあります。
- ⑩シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手についたまま本機を扱うこともおやめください。
- ⑪製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ⑫使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量、巻糸状態に差異が生じることがあります。
- ⑬弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。

【ラチェットの取り付け方法】(※図は右ハンドルモデルです。)

右ハンドルの場合、図のようにラチェットのRが見えるように、左ハンドルの場合、ラチェットのLが見えるようにスプールに取り付けてください。

②スプリングワッシャー ①ラチェット
③調整ワッシャー ④リテイナー

※初期状態では、調整ワッシャー0.3mm×1、スプリングワッシャー×1を使用してください。ガタつきがある場合や、すぎまがなくリテイナーが取り付けられない場合、調整ワッシャーの厚さや枚数を変更して調整してください。

リテイナーをラジオペンチで軸の溝に取り付けます。

ラジオペンチ

注意！
左右ハンドルモデルに合わせて取り付けます。
ラチェットを逆に取り付けるとスプールロックが効きません。必ず正常動作を確認してからご使用してください。

●スプール交換方法 (※図2、3は右ハンドルモデルです)

1 リール本体の側面にあるサイドプレートスクリュー(3箇所)をリール本体付属のスプール交換用レンチで反時計回りに回し緩めます。

※右ハンドルモデルの場合 ※左ハンドルモデルの場合

①:リール本体付属のスプール交換用レンチ
②:サイドプレートスクリュー(3箇所)

2 リール本体から、スプールを外します。

3 本体の穴へピンを合わせて取付けます。サイドプレートスクリュー(3箇所)を時計回りに回し、締めてください。

※その際、サイドプレートスクリュー(3箇所)を均等に締めてください。

注意
※スプールを落とさないよう充分ご注意ください。

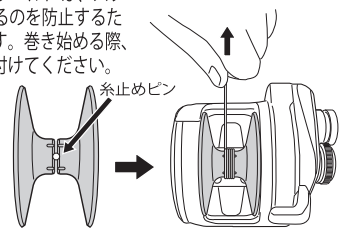
△ラインに関するご注意

・以下のリスクにご注意ください。

PEライン専用の軽量スプールを採用しています。そのため、必要以上の高いラインテンションで糸を巻くと、スプールが変形する場合がございます。ラインテンションをかけすぎないようにご注意ください。
PEラインを巻く際は、1kg程度のラインテンションでの糸巻きをお薦めします。
下巻きにナイロンラインをご使用される場合は、6号以上の太さをご使用いただき、ラインテンションをかけすぎないように300g程度での下巻きをお薦めします。
細糸PEを使用する場合、巻糸の偏りや糸フケ、バックラッシュの発生によりトラブルが発生しやすくなります。フレームとスプールの間(隙間)にラインが噛み込む症状や、巻糸面での上糸と下糸のライン同士での食い込み症状などが発生しやすくなります。ラインが噛み込むケースはメカニカルブレーキ力が小さく、糸がフケた状態で発生しますので、メカニカルブレーキノブを締めて糸フケを抑えてご使用するか、サミングにてスプール回転を抑えて使用してください。ラインが食い込むケースは、高負荷時の巻取り後などに発生しやすくなりますので、そのまま使用を続けるとドラグ作動時に摩擦による高切れなどのリスクがあります。必ず直してから次の動作に移ってください。

●スプールにPEラインを巻き始めるときの結び方

●25SALTIGA 10シリーズのスプールには、スプール巻糸面PEラインが空転するのを防止するため、糸止めピンが付いています。巻き始める際、糸止めピンにしっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認した後、糸巻きを開始してください。



●スプール下巻き目安ライン

スプール巻糸部には、目安ラインが引いてあります。
・下巻きをした場合：
PE1号—600m
PE2号—300m

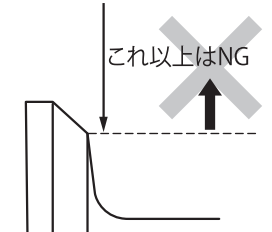


※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。

●巻糸についての注意

- ・ラインを巻く際は、リール本体にラインが触れないようにご注意ください。フロントビラーやフレームにラインが当たると、ラインや本体が傷つくおそれがあります。
- ・標準巻糸量は標準糸：UVFソルティガデュラセンサー×8+Si2+リーダー5m程度を目安としています。
- ・巻糸量は、右図の通り限界巻糸ラインを上限としてください。それ以上の巻糸量を巻いた場合、段差部分にPEラインが乗り上げた巻糸状態にあるおそれがあります。最悪の場合、フレームとスプールの間(隙間)にラインが噛み込むトラブルが起こりやすくなります。おやめください。

限界巻糸ライン



注意

●取扱い・保管上の注意

- ・軽量スプールのため、落下などの衝撃で変形してしまうと、スプール性能が発揮されなくなります。取扱いには充分ご注意ください。
 - ・根掛かりしたときに、スプールを指で押さえてラインを切ることはおやめください。スプール変形の原因になります。
 - ・海水で道糸が湿った状態で保管するとスプールが腐食するおそれがあります。巻糸部にあたるように水道水を掛けて海水を十分流してから乾燥させてください。
 - ・水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損するおそれがあります。
- ※お手入れ方法・リール取付状態での取扱いに関してはリール本体の取扱説明書をご確認ください。

●アフターサービスについて
本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合はお買い求めの販売店、または右記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター (無料) 携帯電話からもご利用できます
ホームページ上からも確認、お問い合わせできます
<http://sportlifeplanets.com>
TEL 0120-506-204
【受付時間】9:00～17:00 (土・日・祝祭日は除く)
株式会社スポーツライフプラネッツ
〒190-0031 東京都立川市砂川町8-79-1